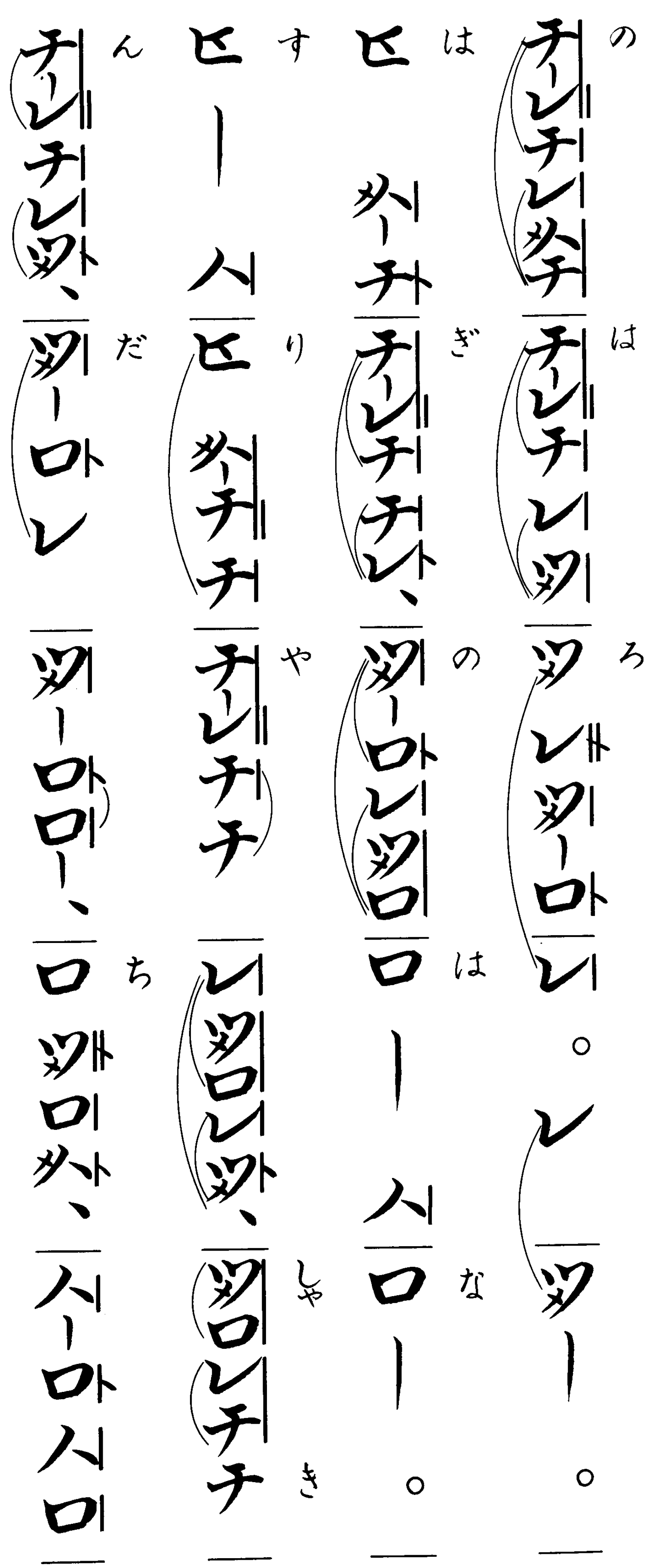
催馬楽

更衣（ころもがえ）



◆**催馬楽（さいばら）**＝平安朝時代に謡われた遊宴歌謡で、巷に上古より行われていたもの（一種の流行歌）と考えられていますが、その起源はさだかではありません。艶麗高雅な曲風を持つ声楽で歌曲の旋法によって律（りつ）と呂（りょ）に分けられ、和声はありませんが、日本の声楽として最も進歩したものです。楽器ならびに声の組ませ方は、次のようになっています。

催馬楽の形式
- 声楽
  - 独唱―音頭
  - 斉唱―附歌
- 伴奏
  - 拍子
    - 声の拍子―笏拍子
    - 楽器の拍子―箏・琵琶・和琴
  - 旋律―横笛、ひちりき、笙